

第52回教諭師中央研修会

- 1 実施年月日 平成29年8月29日(火)～31日(木)
- 2 会 場 東京都千代田区 法務省地下大会議室
- 3 参加者 教諭師78名 矯正施設関係者3名 その他関係者21名 計102名
- 4 基調講演
法務省矯正局長 富山 聡 氏
「矯正の現状」
- 5 記念講演
日本ダルク神奈川 五十畑 修 氏
「薬物に関わった人の心の悩み」
- 6 講演
川越少年刑務所教育担当専門官 木崎 道 啓 氏
「川越少年刑務所における薬物事犯者への指導について」



7 研修成果

今回の研修は、昨年に引き続き薬物事犯者の特質や抱えている心の悩み等について、より理解を深めることに重点を置いた内容により、知識の習得と教諭技術の向上を図ることを目的として、78名の教諭師が3日間の研修を行った。

基調講演では、矯正局長富山 聡氏により刑事政策の動向や、最新の矯正施設の状況等について理解し易い内容で講演をしていただき、今後の教諭活動を行う上で大変参考となった。

記念講演では、日本ダルク神奈川の代表である五十畑修氏により、薬物に関わった人の心理状況や五十畑氏自身の体験を交えた内容で講演をしていただき、薬物依存者の特質や薬物依存に陥る原因及び抱えている心の悩み等について理解を深めることができた。

分科会(班別討議)及び全体会では、ダルク施設職員10名の協力により、班別に分かれて教諭師との討議や意見交換が活発に行われ、薬物に関わった状況や理由等を詳しく知ることができた他、薬物に関わった人にどのように接するべきか等多くのことを吸収することができ、宗教教諭を通して、矯正施設に収容されている被収容者が自己と向き合い、抱えている不安や心の悩みを解消することができるための一助となればという思いを強めるとともに、今後の教諭活動のあり方や方向性等について考えを深めることができた。

